

12月12日：利上げ停止の兆しがベトナム株を押し上げ

2営業日続伸、FRBが水曜日の会合で金利を据え置き2020年には金利を変更しないことを示唆したことが相場を支えることになった。

サイゴンハノイ証券によると、米国中央銀行は投資家心理を和らげることを助けたと報じた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.66%高の968.17ポイントで取引を終えた。

出来高は2億1900万株で売買代金は4.2兆ドンであった。

同指数は水曜日にも0.15%上昇し961.78ポイントで取引を終えていた。

202銘柄が上昇したのに対し127銘柄が下落した。

VN30指数も0.74%上昇し884.80ポイントで取引を終えた。

銀行株の上昇が指数を大きく支えた。ベトコムバンク（VCB）は1.9%高、VPバンク（VPB）は2.1%高、テクコムバンク（TCB）とベティンバンク（CTG）もそれぞれ2%と1.5%ほど上昇した。

証券株が資金を集めた。SSI証券（SSI）は2.1%高、サイゴンハノイ証券（SHS）は2.6%高、ホーチミン市証（HCM）は0.9%高、VNダイレクト証券（VND）は4%高だった。

その他小幅に上昇したのが、ビナミルク（VNM）（+0.5%）、ベトジェット（VJC）（+0.9%）、ペトロリメックス（PLX）（+0.9%）、ビンググループ（VIC）（+0.1%）などであった。

一方、下落したのはホアファットグループ（HPG）（-0.8%）、ペトロベトナムガス（GAS）（-0.2%）、ペトロベトナムパワー（POW）（-0.8%）、ビンコムリテール（VRE）（-0.7%）などであった。

セクターごとでは、農業、建設資材などの7セクターで下落した。

一方、18 セクターは上昇、不動産、証券、飲食料品、保険、小売、ヘルスケア、銀行、IT、建設、工業などであった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.32% 上昇し 102.71 ポイントで取引を終えた。

出来高は 3020 万株、売買代金にして 2903 億ドンであった。

HNX 指数は 0.33% 上昇し 102.38 ポイントで取引を終えた。

外国人投資家はビンホームズ、ホアファットグループ、マッサングループなどを売り越した。

バオベト証券によると、VN 指数は 969-970 ポイントの抵抗線を試すことになるだろうとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。